



長い夏休みが終わり二学期のスタートです。厳しいコロナ感染拡大のなかでしたが、大きな事故やケガなどの連絡もなく、皆さん有意義な休みを過ごせたことと思います。

二学期は、残暑厳しい季節から始まり、寒さ厳しい冬まで、三つの季節をまたいだ長い学期になります。また、学校行事も盛り沢山で、高学年の宿泊行事をはじめ、E S D学習発表会、E S D作品展、校外学習等々を予定しております。

子ども達には活躍の場がたくさんあります。友だちと一緒に活動するなかで、つまずいたり、悩んだりすることも多々あるかと思われませんが、行事等をとおして、さらに成長できるよう教育活動に取り組んでまいりたいと考えています。

長い二学期です。お子様の様子で気になることがあれば、ご遠慮なく、まずは担任へ早めの相談をお願いいたします。

各ご家庭や地域の皆様には、子どもたち一人一人のより良い成長に向け、引き続き、ご支援、ご協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

校区を花でいっぱいにして！プロジェクト

大阪府事業「花いっぱいプロジェクト」が終了し、地域の方が豊中市「緑化リーダー会」へ働きかけてくださり、花の苗と種を頂くことになりました。

「花いっぱいプロジェクト」を引き継ぎ、「地域を花でいっぱいにして！」を合言葉に、地域の皆様、P T A環境委員の皆様のお力添えにより、中学年、栽培委員会の児童を中心に、頂いた苗と種を育て、アドプト道路上の花ポット、旧新田小学校花壇、天神社、パークヒルズ自治会様等々へお渡しすることになりました。

E S Dフェスタ開催へのご協力とお願い



今年度は、三学期に「E S Dフェスタ」を開催する予定です。コロナ感染状況により開催を断念していたフェスタですが、E S Dフェスタ開催実現にむけて、準備を進めています。

本フェスタは、本校における、一年間のE S D教育の集大成の場であると共に、子どもたちにとって楽しみにしているお祭りでもあります。

児童会、学年、学級で取り組んだE S Dの学びを発表したり、お店を出したりクイズをしたり等々、楽しい催しにしたいです。

その一環として、ペットボトルキャップを仮想通貨として出店で使います。すでに児童会でもペットボトルキャップ5万個をめざした活動を行っているところです。保護者の皆様にもフェスタ用のキャップ集めにご協力いただけると助かります。フェスタ用のキャップはフェスタ当日、子どもたちに持参してもらう予定です。

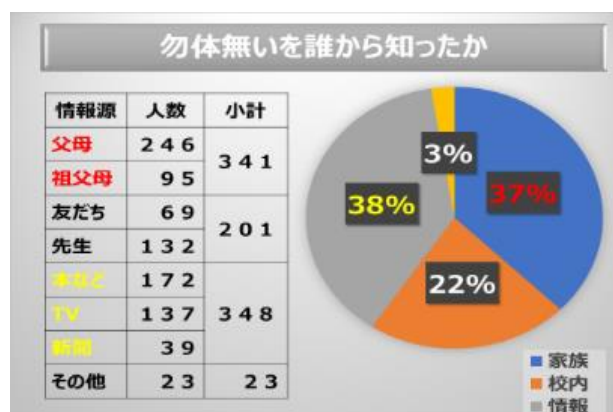
フェスタで集まった仮想通貨としてのキャップは、児童会が集めたキャップと一緒に、リサイクル工場へ持っていき、世界の子どもたちのワクチン等にかえます。

「もったいない！」アンケートから見えてきたこと

ESDで強調されているように、3R (Reduce、Reuse、Recycle)の根底には、日本独特の言葉「もったいない」が流れています。そこで、子どもたちが「もったいない」についてどのような意識をもっているのか調査してみました。

分析した結果

| アンケート回答者 | |
|----------|-----|
| 学年 | 人数 |
| 3年 | 54 |
| 4年 | 56 |
| 5年 | 115 |
| 6年 | 90 |
| 合計 | 365 |

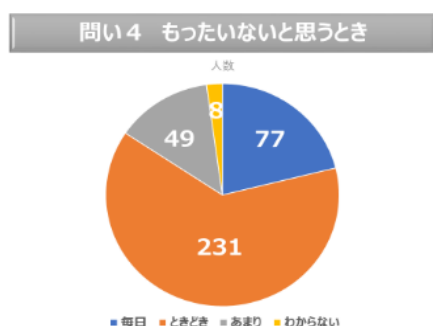


Qもったいないという言葉をしていますか。

365人の内、7人が知らないと回答しました。

Q勿体ないを誰から知りましたかでは、

父母、祖父母と答えた児童は、341人であり、全体の37%、友達や先生が201人で全体の22%、本やTV、新聞が348人で38%、その他23人3%ということがわかりました。



問い5 どんなことがもったいない？

| 項目 | 人数 |
|----------------|-----|
| 食べ物、飲み物を残して捨てる | 275 |
| 水道の水を出しっぱなしにする | 244 |
| 修理すれば使える物を捨てる | 88 |
| テレビなどのつけっぱなし | 100 |
| 使い捨て製品を使うこと | 35 |
| リサイクルできるものを捨てる | 63 |
| その他 | 12 |
| 計 | 817 |



Q次に、もったいないと思うときは？の質問では、

毎日が77人、時々が231人、あまり思わないが49人、わからないが8人でした。勿体ないと思うか思わないかで表すと、308人の児童は思う、57人の児童は

あまり思わないということが言えます。

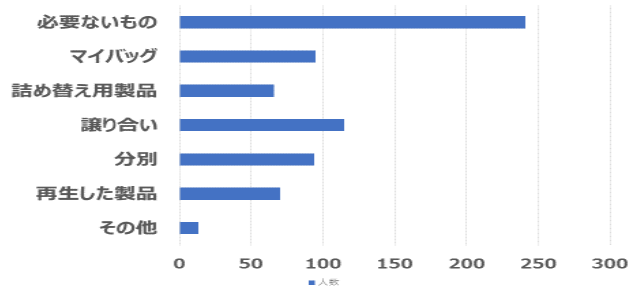
Q次に、どんなことがもったいないですか？の問いについて

食べ物、飲み物を残して捨てるが275人、水道の水を出しっぱなしにするが244人、修理すれば使える物を捨てるが88人、テレビなどのつけっぱなしが100人、使い捨て製品を使うことが35人、リサイクルできるものを捨てるが63人、その他が12人でした。

問い6 自分たちがやるべきこと

1. 必要ない物は買わない、もらわない
2. 買い物にはマイバッグを持参する
3. 詰め替え用の製品を選ぶ
4. いらなくなった物を譲り合う
5. ごみを正しく分別する
6. ごみを再生して作られた製品を利用する
7. その他

問い6 自分たちがやるべきこと



Q自分たちがやるべきことは？の問いに対しては、

必要ないものは買わない、もらわない。買い物にはマイバッグを持参する。詰め替え用の製品を選ぶ。いらなくなった物を譲り合う。ゴミを正しく分別する。ゴミを再生して作られた製品を利用する。その他となりました。さらに、項目別に人数でみると、必要のないものが、約245人、マイバックが約95人、詰め替え用製品が、約65人、譲り合いが約115人、分別が、約90人、再生した製品が約75人、その他約15人いることが分かりました。

Qあなたが、「もったいない」ということについて考えることがあれば、自由(じゆう)に書(か)いてください。



・なぜもったいないという言葉が生まれたのか。みんな、給食のありがたみに感謝せず、いっぱい残していることが多い。せっかく勉強したから、ちゃんと生活のために役立てるように、使っていきたい。

・私たちに出来ることはたくさんあると思うので、それをしっかり実現していきたい。

・もったいないことは、地球につながり、いずれ私たち人間にも悪いことが返ってくるから自分に出来る事をして守っていく。

・みんな、ポイ捨てをしてはいけない！テレビ等で言うが、本当にそう思っているのかな、と思う。本気でやらないと、良い未来は実現できない。

・世界には一粒の食料も食べられない子供たちがいるのに、なぜ残してしまうのだろう。

・大人たちにも教えてあげないといけない。大人たちがポイ捨てをして孫、曾孫の時代が危なくなってもよいのかな…と思います。

・食品ロスはたくさんの食品を残してしまう。ぼくは、それをもったいないと思い

ました。

・地球温暖化を完全になくすには、江戸時代の生活に近づけることが大事。節電したり節水したりして、できるだけ江戸時代の生活に戻すことが大事。※江戸時代は、農業社会であり、循環型社会であった。

・もったいないという言葉がないような社会を作ると、自然的に社会問題も少し解決するのでは。

SDGsの目標の一つは、学んだことを行動することです。

今回、こどもたちにおこなった「もったいない」に関するアンケート調査から、「一理を学べば、一理を行へ」「因果応報」「塵も積もれば山となる」等につながる児童の気づきをたくさん拾うことができました。この子どもの気づきをこれからの教育・授業にどう活かすことができるかが、私たち教員の課題です。

SDGs目標達成をめざして、学校、家庭、地域で力を合わせて取り組んでいきましょう。

豊中市の人口約40万人。一人一人が、1gのごみを減らすと一日当たり400kg、一年で146tの減量につながります。

パッカー車の台数に置き換えると、一台のゴミ収集量は最大3t、一年で約49台の減量となります。

塵も積もれば山となる